



うれしい景色が増える旅

# GREEN JOURNEY

2026.03.02

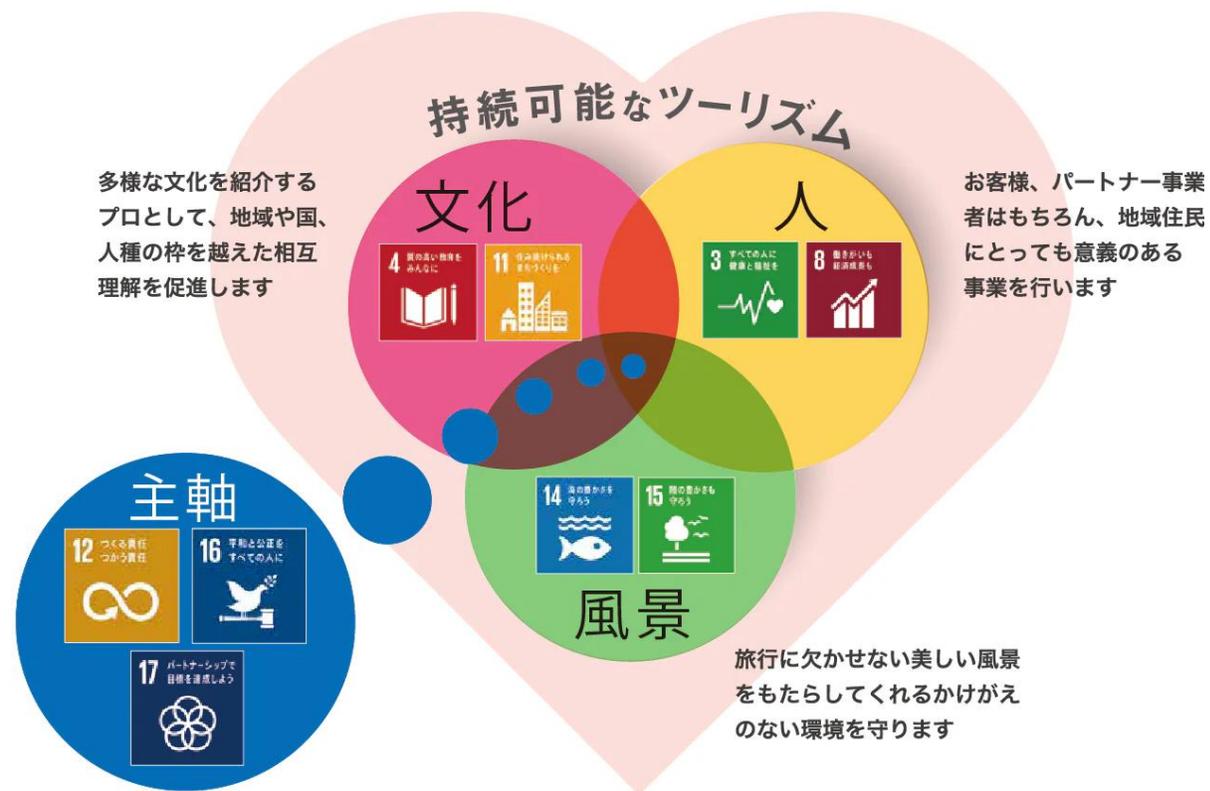
Confidential

---

## prologue. 導入前の課題・背景（プレ・ディベロップメント）

# SDGs宣言

## 2019年 大手旅行会社として初の「SDGs」宣言（2018年～社内ワーキング開始）



- ✓ 健やかで、不公平のない、豊かで活力のある生活を創ります。
- ✓ 私たちに恵みを与えてくれる自然とその美しい景観を守ります。
- ✓ 個々の文化への理解を促し、平和で公正な社会づくりに寄与、貢献します。

# 当社のサステナブルツーリズム推進事業（2020～2023）事例①

## 脱炭素を推進する旅行商品の開発（カーボンオフセット）

### Carbon-Zero



旅行でJRや航空を利用した往復の移動により排出されるCO<sub>2</sub>を実質ゼロにするカーボン・オフセットプログラム「Carbon-Zero（カーボン-ゼロ）」の販売。35の都道府県の森林保全に関わる活動に由来するJクレジットと契約。

# 当社のサステナブルツーリズム推進事業（2020～2025） 事例①

## 脱炭素を推進する旅行商品の開発（カーボンオフセット）



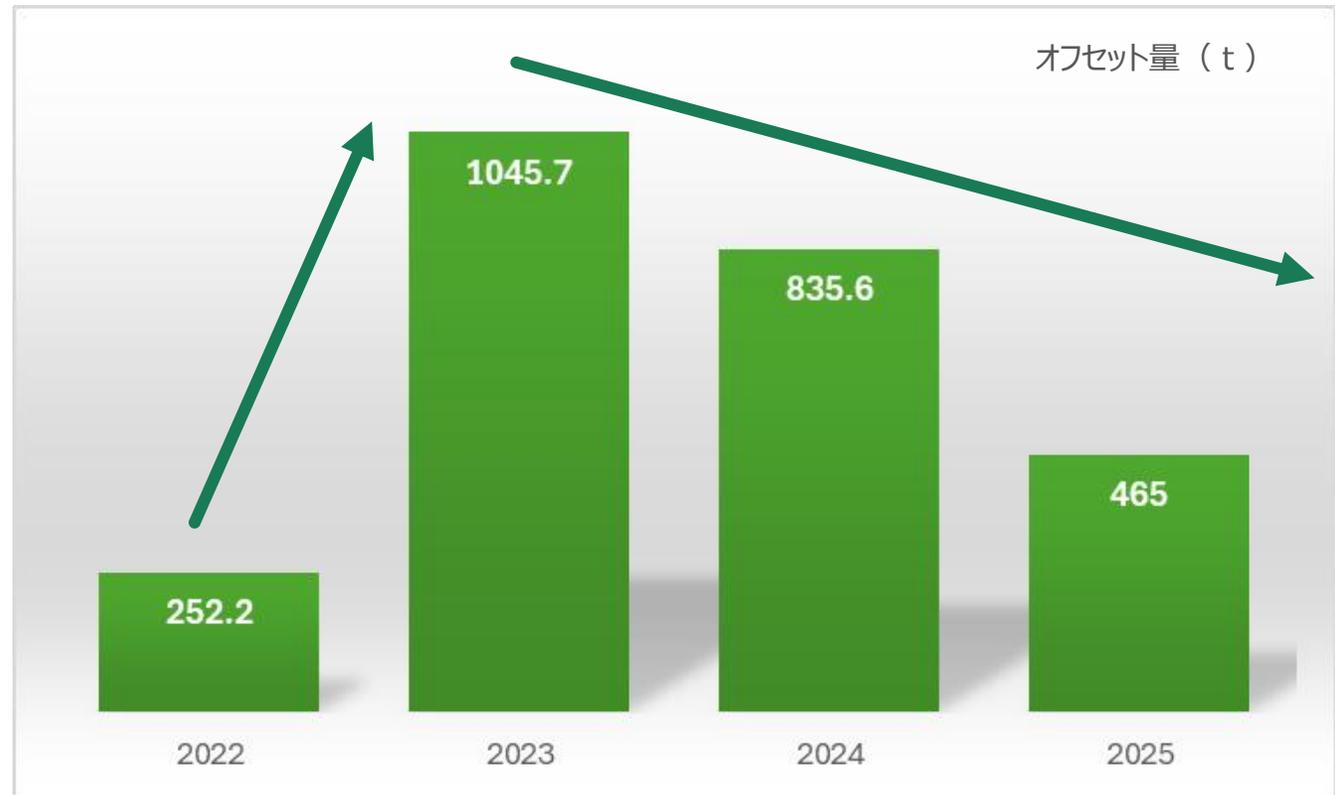
Carbon-Zeroをご利用いただいた皆様のCO<sub>2</sub>削減状況



2025年の削減目標は1000t (t-CO<sub>2</sub>)  
現在 約**464.0t** (t-CO<sub>2</sub>) 削減！

2025年12月現在

今までの合計は約**2,597.5t** (t-CO<sub>2</sub>) 削減 (2025年12月現在)



## 当社のサステナブルツーリズム推進事業（2020～2023）事例②

### サステナブルツーリズムの推進（プログラム開発と普及啓発）



- ✓ 日程：2021年10月23日(土)・24日(日)
- ✓ 開催地：長野県（松本市・信濃町・須坂市・茅野市）
- ✓ 主催：日本みどりのプロジェクト推進協議会  
Go Greenプロジェクトin長野実行委員会
- ✓ 協賛：日産自動車株式会社

長野県の観光事業者、自治体、観光を学ぶ大学生と将来にわたり必要な観光産業の在り方を考えるシンポジウムを開催。



シンポジウム



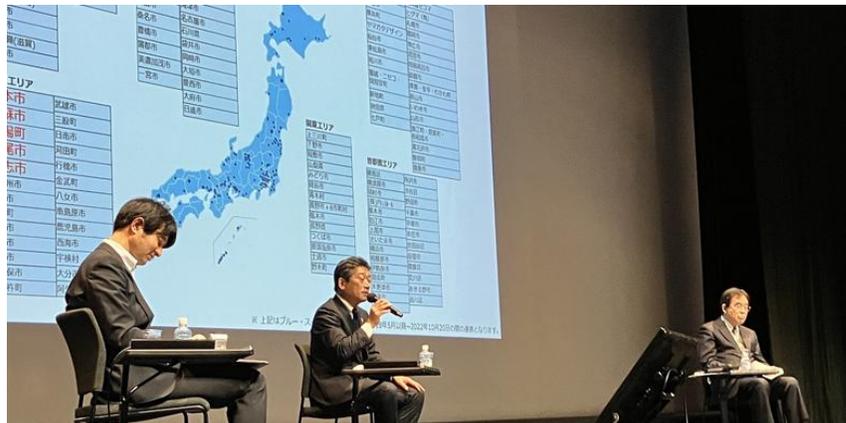
展示



エクスカージョン

## 当社のサステナブルツーリズム推進事業（2020～2023）事例②

2022年熊本開催（熊本市、阿蘇市、人吉市、球磨村）



2023年三重開催（志摩市）



## 2023年当時の課題感

### 大手旅行会社として 初めてのSDGs宣言



Tourism for Tomorrow

「おもいやり」と「きずな」で  
今、ツーリズムにできることを。



### 日本旅行SDGs宣言

1. 健やかで、不公平のない、豊かで活力のある生活を創ります。
2. 私たちに恵みを与えてくれる自然とその美しい景観を守ります。
3. 個々の文化への理解を促し、平和で公正な社会づくりに寄与、貢献します。

契約しているホテル様との取り組み、サステナビリティレポート発行等で徐々に浸透してきているが、企業競争力の大幅な向上にはつながっていない。

### サステナブルツーリズム推進事業 (プログラム開発)



毎年シンポジウム型のプロジェクトを実施。ネットワークは広がっているものの、実施後の継続性に関しては課題が残る。※現地受け入れ体制の整理

---

# I . GREEN JOURNEYとは

## うれしい景色が増える旅 GREEN JOURNEY

その土地の自然を、食材を、文化を楽しむために旅をする。

それなのに私たちは、地域を消費しながら旅をしてしまっていたのかもしれない。

もしも、旅するほど、自然を守ることができたら。

しあわせを増やすことができたら。旅をする、新しい理由ができるはず。

旅先をEVで走る。その土地の空気がおいしくなる。

とれたての食材をその場でいただく。その街が豊かになる。

地域の人や伝統に触れる。新しいつながりが生まれる。

環境にやさしく、地域はうれしく、自分たちはとことん楽しい。

そんな新しい旅を、一緒にはじめてみませんか？



©MC™

# GREEN JOURNEY

## を楽しむためのヒント

**1.** 空気がおいしくなる移動を。  
旅先では、走行時のCO<sub>2</sub>排出ゼロのEVに乗ろう。

**2.** その土地のとれたてを、いただきます。  
地産地消の食事をしよう。

**3.** 地球にもやさしい宿泊を。  
地球環境に配慮した工夫をしている宿に泊まろう。

**4.** 旅での体験を、地域の貢献に。  
地域社会のためになるアクティビティを楽しもう。

**5.** 思い出と気づきも、お土産に。  
旅で学んだことを日々の暮らしに役立てよう。



©MC™

# GREEN JOURNEY とは？

日産自動車株式会社と日本旅行が発起人となり、

**「環境にやさしく、地域はうれしく、自分たちは とことん楽しい旅」**

をスローガンに、CO<sup>2</sup>排出を抑え、地域の課題解決にもつなげる新しい サステナブルな旅の形を推進する取組です。

サステナブルツーリズムを推進する地域が増えることが、**日本が抱える社会・地域課題の解決に寄与する**と考え、この取組はスタートしました。



# GREEN JOURNEY パッケージツアー

日本旅行より2024年9月～パッケージツアーも販売開始。まずは阿蘇・伊勢志摩から。

The screenshot shows the Nippon Travel Agency website. At the top, there is a navigation bar with the company logo, a search bar, and links for '店舗一覧', 'オンライン旅行相談', 'よくある質問・お問合せ', '法人のお客様', and 'English'. Below the navigation bar, there are tabs for '国内' (Domestic) and '海外' (Overseas). Under the '国内' tab, there are icons for various travel services: JR+宿泊, 国内ツアー, ホテル・旅館, 高速バス, レンタカー, 遊び・体験, 海外ツアー, 海外航空券, 海外ホテル, and 海外航空券 + ホテル. Below the icons, there is a breadcrumb trail: '日本旅行トップ > 国内旅行・国内ツアー > うれしい景色が増える旅 GREEN JOURNEY うれしい景色が増える旅 GREEN JOURNEY'.

The main promotional graphic features a stylized illustration of a character wearing a green hat with white flowers, set against a background of green trees and a sun. The text reads: '日産自動車×日本旅行 共同企画' (Nissan x Nippon Travel Agency Joint Project), 'うれしい景色が増える旅' (A trip where you enjoy more beautiful scenery), and 'GREEN JOURNEY' in large, bold letters. Below the title, there are two buttons: '熊本・阿蘇' (Kumamoto/Aso) and '伊勢志摩' (Ise-Shima). At the bottom, there are three links: 'GREEN JOURNEYとは?' (What is GREEN JOURNEY?), '対象旅行商品' (Eligible travel products), and 'ご予約方法' (Reservation method).

This promotional graphic is similar to the one above but includes more details. It features the same character illustration and text: '里海・里山の絶景や漁業文化を堪能できる' (Enjoy the stunning scenery of the sea and mountains and the fishing culture), '伊勢志摩' (Ise-Shima), '2024.09-2025.03', and '赤い風船' (Red Balloon). Below the character illustration, it says 'うれしい景色が増える旅' (A trip where you enjoy more beautiful scenery) and 'GREEN JOURNEY'. At the bottom, there is a table with contact information: '当日までお申込みOK!!' (OK to book until the day of departure!!), 'フリープラン・コースコード' (Free Plan Course Code), '※日 3341130', '※ 3440505', and '※ 3640842'. There are also logos for NISSAN, 日本旅行 (Nippon Travel Agency), and JRグループ (JR Group).

---

## II. GREEN JOURNEY 実施しての成果

## 成果① 賛同企業

ローンチ時点で14企業・団体と2自治体が賛同。（JR全7社の賛同は異例とのこと）  
現在は141マーケティング・ENECHANGEなども加わり、今後も更に増えていく見通し。

### ローンチ初期の賛同団体・企業

#### GREEN JOURNEY 推進委員会



地球の歩き方

TBWA\HAKUHODO



Earth hacks & Co.



EV充電エネチェンジ



#### 提携自治体・団体等



東北大学  
TOHOKU UNIVERSITY



伊勢市

\*賛同希望



\*賛同予定

## 成果②PR効果

ローンチ発表会のPR露出は、ベンチマーク目標を大きく上回る結果に。  
NHKニュースなど良質な露出も多く、メディアや業界から大きな注目を集めることに成功。

# PR換算 11.1 億円

- 掲載：576媒体
- 予算は1.3億円
- ベンチマーク目標は3.2億円

ProPILOT MOPの約2倍の露出量！



## 成果③ 旅行者の参加

旅行の参加者はまだまだこれからだが、徐々に増えてきている。  
また、参加した人からは「楽しかった」「EVの乗り心地がよかった」などのポジティブな声。



友達登録数

1,621人

スタンプラリー  
参加人数

269人

(阿蘇154人+伊勢志摩124人)

\*2025年3月11日時点

自分では選ばないようなアクティビティや食事を検討できるので  
わくわくします! ✨

(※アンケート回答より抜粋)

 **まめきち**  
@mamekichi\_cosme

EV車日産リーフ初めて乗りましたがかなり乗り心地の良い車 ✨  
スタンプラリーも楽しませて貰ったので旅の感想をツリーに繋げて行きます 🙌

 **ao** ダイエット後の維持 🌿  
@G5tNrth

今日も #日産 電気自動車のリーフ君と阿蘇をドライブ 🚗 ✨  
阿蘇神社を参拝し念願の草千里ヶ浜へ 🐕❤️雄大で美しい自然の中を散策  
出来て大満足でした 🌄 ✨ 🌿



阿蘇ツアー

4組8名

伊勢志摩ツアー

12組26名

\*2025年2月4日時点

## 成果④ GREEN JOURNEY 宿泊施設基準

GREEN JOURNEYの旅行プランやスタンプラリーで取り上げる宿泊施設は、以下の取り組み基準が既に実施できている、もしくは取り組みをすぐに進める意思があることが条件となる。



項目	GREEN JOURNEY 宿泊基準	サクラクオリティ番号
<b>① 宿泊施設の運営全般の対応</b>		
廃棄物	✓ 廃棄物の量を測定し、削減する仕組みを設けている	D2.4-92/95
雇用	✓ 地域の雇用創出に貢献する方針としている	B2-33/34
水	✓ 消費水量を測定し、最小限に抑えられる取組をしている	D1.4-76/78、D2.3-90/91
生物多様性（野生動物、家畜動物）	✓ 野生生物へ悪影響を及ぼさない措置をとり、飼育生物へは負荷のない環境を整えている	D3.1-105、D3.4-120/123 D3.5-125/127/128/129/130
地域独自の文化をデザインや装飾、食、店舗等に取り入れる	✓ デザインや装飾、食等に地域の自然や文化を取り入れている	C3-56
お客様満足度（モニタリング）	✓ お客様からの意見を集約し、否定的な意見に対しては措置を講じている	A5-139/140
<b>② 食のサステナビリティへの対応</b>		
購買方針	✓ ホテルで使う食材や物品は地域内サプライヤーからの購入を基本としている	B3-36、D1.1-61
<b>③ 環境負荷の低い移動への対応</b>		
エネルギー	✓ 環境にやさしい移動手段で訪問できる／利用できる工夫をしている(EV充電器の設置をしているなど)	D1.3-68
<b>④ サステナビリティを意識した観光の推進</b>		
地域の自然環境や文化	✓ 地域の自然環境や文化に触れる体験を案内している	A9-24、D3.3-117/118
<b>⑤ 社内方針の策定・浸透</b>		
社内における方針の策定	✓ 上記①～④の取組方針を策定し、社内で共有・働きかけを行っている	A4-134

## 成果⑤ GREEN JOURNEY

2025年09月13日更新



「投資してみたい企業」ベスト3はソニー、ヤクルト、花王。伸び幅では日本旅行がトップ (企業版SDGs調査2024)

<https://news.tiiki.jp/articles/4942>

### <評価ポイント>

2025年で創業120周年を迎えるにあたり、将来的に実現を目指す宇宙旅行事業や、**サステナブルな旅行スタイル「GREEN JOURNEY」事業**など、関係各社と協力して推進している。

---

## Ⅲ. GREEN JOURNEY を進めていく上での課題と対策

## 課題① 旅行者の参加

「GREEN JOURNEY」の販売実績 139名※2024年03月～2026年2月出発



「サステナブルツーリズム」は現在、インバウンド、教育旅行、企業研修の一部ではビジネス化することができてきた。しかし、国内個人旅行ではまだビジネス化できていない。これは、サステナブルツーリズムを実施しようとする**まだコストがかかり、「コスパ」「メリハリ」「節約」を意識する日本人にはなかなか浸透しない。**

## GREENJOURNEYから見えてきた希望

### メディア露出件数

<b>露出件数</b>	<b>576件</b>
<b>広告換算数値</b>	<b>11.1億円</b>

テレビ 18件（1億円） ・ 紙面 36件（458万円） ・ WEB 523件（10.1億円）

主な露出メディア：ワールドビジネスサテライト、めざましテレビ、とくダネ、NHK、日経トレンディ

※自治体の皆様からの問い合わせ多数

JNTOはサステナブルツーリズムを「訪問客、産業、環境、受け入れ地域の需要に適合しつつ、現在と未来の環境、社会文化、経済への影響に十分配慮した観光」と定義しており、この観光を実現できている地域は「持続可能な街」として、全国の模範事例となり様々な場面で紹介されている。また、その実現に向けてサポートしている企業は日本政府から好事例として表彰され、多くのメディアから取り上げられ企業価値を高めている。このことから、サステナブルツーリズムを「体験を通じた行動変容ツール」としてとらえることができれば、新商品のプロモーション場としての提供が可能になる。サステナブルツーリズムをとしての新しいビジネスを検討していきたい。

**B<sub>to</sub>Bモデルでカタチをつくり**

**B<sub>to</sub>B<sub>to</sub>Cモデルで市場を作り**

**B<sub>to</sub>Cモデルでスケール化を図る**

## GREENJOURNEYから見えてきた希望

### BtoB(モデルを創る)

自治体・企業と連携し、型を作る (School/研修)



### BtoBtoC(マーケットを創る)

学校・団体を通して、次世代の意識を変える



### BtoC(マーケットを広げる)

その結果として、個人のサステナブル旅行を一般化させる



教育旅行は「探究学習」の素材を探しており、GREEN JOURNEYのコンテンツと合致する。

---

## IV. GREENJOURNEY for SCHOOL (カーボンオフセットモデル)

# GREEN JOURNEY for SCHOOL とは

サステナブルツーリズムを通じて「地域課題解決」について学ぶプログラム



ターゲットは地域課題解決をテーマに探究活動を行う「高校」、「大学」

# GREEN JOURNEY for SCHOOL について

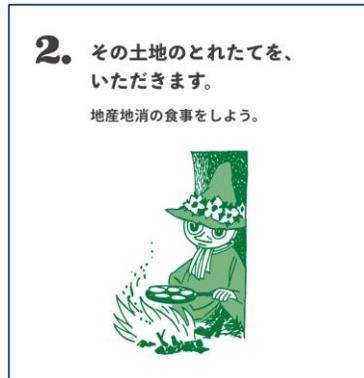
中学生・高校生のキャリア形成・大学進学につながるよう、社会課題解決や地域活性化をテーマに自分たちで「学びの旅」を企画・実施し、その内容を広く発信することで「思考力・判断力・表現力」を養い、「主体性・多様性・協働性」を身に着ける旅行商品。

参加者が、5つのポイントを整理

<移動>



<食事>



<宿泊>



<体験>



<学び>



← 脱炭素社会実現に向けて

← 地域の伝統文化の継承・交流人口拡大と地域活性化

- ① 社会課題解決・地域活性化の取組の発信
- ② 地域の魅力発信

# GREEN JOURNEY for SCHOOL 実施事例



## 新潟県新発田市

有機農業を推進する新発田市での田植え体験や、温室効果ガス削減につながる「水稻栽培における中干し期間の延長」を学ぶことで、農業におけるサステナビリティを学習するほか、クボタが推進する「農業のカーボンニュートラルについて」の講座や、日産が推進する「電気自動車を活用した地域課題解決」の講座を行う。さらに新発田市の廃校を活用したシェアオフィス「キネス天王」を会場として活用することで地域資源の再活用についても学ぶ。



田植え体験



EVを活用した災害対策



持続可能な農業について

# GREEN JOURNEY for SCHOOL 実施事例

【1日目】 東京駅- - - (新幹線) - - -新潟駅 = = = (貸切バス) = = = 宿泊施設 <防災キャンププログラム>



移動で排出したCO2のオフセット  
新幹線、貸切バス

【2日目】 宿泊施設 = = = 農業体験 = = = 昼食 (バーベキュー) = = = 城下町スタンプラリー = = = 宿泊施設



田植え (農業について学ぶ)



地域の食材を使ったお昼ごはん



ホテル清風苑  
「環境をおもてなしにサステナブルツーリズムの宿5つ星」

【3日目】 宿泊施設 = 新発田市廃校活用施設 = 昼食 (お弁当) = 新潟駅- - - (新幹線) - - - 東京駅

- ① EV×防災を学ぶ「ブルスイッチ」と連携した学びの提供
- ② クボタの脱炭素の取組を学ぶ体験学習



- ✓ オフセット型旅行の体験で環境配慮意識が高まる
- ✓ 地産地消を体験し、フードマイレージの意識を持つ
- ✓ 防災への意識が高まる
- ✓ 廃校の利活用の新たなモデルケースを知る

# GREEN JOURNEY for SCHOOL 実施事例

## カーボンオフセットの取組



クボタ様と新発田市様「水稻栽培における中干し期間の延長」で創出カーボンクレジットで、足立学園高等学校の校外学習で排出したCO<sub>2</sub>をオフセットしました。

※0.5t分は新潟県南魚沼市市民生活部環境交通課のクレジットも活用

**合計 10.5トン**

### ◆新幹線: 一人あたり1km移動することに排出するCO<sub>2</sub>は約18g

※東京駅-新潟駅 334km 往復668 k m

$$668\text{km} \times 18\text{g} = 12,042\text{g}$$

$$12,042\text{g} \times 340\text{名} = 4,094,280\text{g}$$

**約4.1トン**

### ◆貸切バス: 一人あたり1km移動することに排出するCO<sub>2</sub>は約51g

※新発田市-新潟駅 約40km 往復80 k m

$$80\text{km} \times 51\text{g} = 4,080\text{g}$$

$$4,080\text{g} \times 340\text{名} = 1,387,200\text{g}$$

**約1.4トン**

### ◆宿泊施設: 環境に配慮している宿泊施設（旅館）に宿泊した場合排出する一人あたりのCO<sub>2</sub>は15kg

$$15\text{kg} \times 340 = 5,100\text{kg}$$

**約5.1トン**

※環境省推奨値



連携パートナー：クボタ（農業×脱炭素）、日産（EV×エネルギーマネジメント）

---

## V. エリア拡大に向けて

## エリア拡大の想定

- ★ GREENJOURNEY（個人旅行）実施エリア
- GREENJOURNEYforSCHOOL実施エリア
- GREENJOURNEYforSCHOOL開発エリア（2026年度）



日本全国に「うれしい景色」を広げていく。

---

## VI. 継続に向けて

# 異業種連携によるサステナブルな観光の仕組みづくり



**移動のプロ ×**



**旅のプロ ×**



**地域のプロ ×**

**脱炭素推進企業**